

開催日時：令和6年10月4日（金） 13時30分から15時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長（竹村経営企画課長代理出席）、福岡会計管理者、筒井議会議務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・首相が代わり石破新政権が発足した。所信表明や党首討論をせずに10月27日の総選挙となるため、選挙が終わるまでの数週間は国の大きな動きはないと思われる。選挙が終わると補正予算や来年度に向けた動きなどが出てくると思われるが、その間、当市では市長選挙が行われるため、粛々と選挙事務に従事していただきたい。
- ・各部局においては、いいだ未来デザイン2028後期計画の最終的なまとめと来年度に向けた整理の期間とすること。
- ・10月20日、27日と選挙が続くことで、特に期日前投票は複雑となる。選挙事務はミスがなくて当然ということが求められ、関わる職員には負担だが、確実に事務にあたっていただくようお願いする。

<副市長>

- ・第3回飯田市議会定例会では、決算認定の説明についてしっかり準備をしていただき、対応できたことに感謝申し上げる。
- ・これから国の選挙やその後の経済対策、補正予算など非常にタイトなスケジュールとなることが想定される。しっかりと情報共有し、手戻りのないよう対応すること。

<教育長>

- ・第70回風越山トレイルマラソン大会まで1週間ほどとなった。参加申し込み数は昨年度より20人ほど少ないが、一番上の白山社まで行くコースの参加者が増えたことが特徴的である。大会名にトレイルという言葉が入ったからなのか、70回記念大会でゲストが来るからなのかなど理由は今後分析していく。
- ・良い天気の中で実施できることが予想されるため、当日の参加者は昨年を上回ることを期待している。
- ・ご協力いただく職員には、対応についてお願い申し上げます。

2 協議事項

(1) いいだ未来デザイン2028後期計画 案 について

◇趣旨

- ・いいだ未来デザイン2028後期計画 案 について確認する。

◇意見

(市長)

- ・基本目標3のねらいの3つ目「こどもにとって家庭は最初の学校」、「家庭が一番安心できる環境づくりを地域全体で進めます」に対する議会からの指摘は、どういう趣旨か。

(こども未来健康部長)

- ・指摘は、親がこどもに教えることは必要であると十分理解するが、「家庭」を「学校」ということに対して違和感があるということ。「学校」ではなく「学びの場」とした方が良いとの指摘である。

(市長)

- ・「地域全体で進めます」のところは、家庭の中に地域が介入すると読み取れるという指摘か。

(こども未来健康部長)

- ・その通り。意図は違うとの説明をしているが、平行線である。

(市長)

- ・いずれも議会からの提言を尊重しつつ、擦り合せをし、真意とずれないのであれば変更も検討すること。

(議会事務局長)

- ・社会文教委員長は、家庭は大事であり、家庭に対して行政が働きかけをする必要があることは理解しているが、家庭に対して地域が何かをするのか、というところに疑問を持っている。この点を委員長と擦り合わせてほしい。

(市長)

- ・戦略の2つ目「こどもが欲しいと望む時から」の表記についての意見は、どういう趣旨か。

(議会事務局長)

- ・社会文教委員と高校生との話の中で、高校生が「子育ては大変」というイメージを持っているとの意見を聞いている。
- ・この戦略の小戦略を見ると具体的な取組が出産の少し前の方を対象にした取組となっているが、高校生に対しても出産に良いイメージを持ってもらえる取組を加え、パッケージとして取り組む必要があるのではないかという意図である。そのため、教育の部分にも言及している。

(こども未来健康部長)

- ・戦略の2つ目は不妊治療から子育ての途切れのない支援についての戦略であり、高校生の意識を変えていく取組は戦略の3つ目であると整理している。

(市長)

- ・戦略は議決事項であり、議会からの意見や提言は真摯に受け止めて検討するとともに、その真意を捉えた対応が必要である。可能な限り提言の内容を尊重する方向で検討したうえで、対応すること。

(企画部長)

- ・素案の段階では、教育に係る記載が「発達段階に応じた系統的な生き方教育」という視点が強い書き方であったため、社会文教委員会とすれば理解しやすかったが、原案では「未来に向かって生きる力」というトーンになり、読み取りにくくなったため整理すること、という指摘でもあると思う。
- ・委員会の提言の真意の確認も含めて、話し合いをしながら詰めていってほしい。

◇協議結果

- ・提案のとおり了承する。

3 報告事項

(1) 飯田市空き家等対策計画の改定について

◇趣旨

- ・飯田市空き家等対策計画の改定について報告する。

◇意見

(議会事務局長)

- ・空き家対策については、議員の関心が高い案件である。まずは、総務委員会に丁寧な説明をお願いしたい。
- ・一般質問において、何度か同一党派が実施体制と具体的施策について質問をしている状況があり、今の説明では議員が疑問を持つことが想定される。説明の内容を再検討されたい。

(結いターン移住定住推進課長)

- ・指摘いただいた部分を検討し、丁寧に対応する。

(2) 会計事務3S強化月間中の伝票返戻調査結果及び会計事務の留意点について

◇趣旨

- ・会計事務3S強化月間中の伝票返戻調査結果及び会計事務の留意点について報告する。

4 令和6年度飯田市議会第3回定例会の反省について

(企画部長)

- ・今回は中日提案、即決案件があり、14人の議員から一般質問があった。

(副市長)

- ・一般質問では、例えば体育施設等の熱中症対策などよく検討した方が良い案件があった。
- ・上下水道の漏水時の減免認定はわかりやすく整理すること。また、上下水道メーターのデジタル化は、進め方を示すこと。
- ・学校給食の公会計化と無償化の話が同じテーブルに乗っていた。別のものとして整理すること。また、学校給食の公会計化については、当市よりも学校数が多い自治体がどのような対応をしているかなど他市の状況も勘案し、給食費だけを公会計にするのか、他の経費も合わせた方が良いのかの判断も含めて、学校ともよく協議をしてその是非を検討すること。
- ・農作物の盗難被害はできるだけ早く調査して現状を把握し、対策を検討すること。
- ・公契約条例の制定については、前向きに検討する段階にきている。
- ・決算認定の際、地方卸売市場事業特別会計で当初予算に新規積立金として100万円を予算計上していたが、余剰金があるのに積み立てを行っていないことについて、どのような判断でそのような措置をしたか説明が不十分であった。
- ・駐車場事業特別会計は、本町の再開発に伴い負担金が増えてくるなかで、将来的な経営の見通しを示すこととの指摘があった。中心市街地部門へ所管替えしたこともあり、駐車場の目的も含めて将来的な経営について検討する時期である。
- ・病院事業会計が2年連続赤字であるという指摘に対し、赤字経営の実態を明らかにし、まずは病院全体で対策を含めたビジョンの意思統一をして3月までに外向けに発表すること。
- ・陳情を不採択とした上で、市議会が緊急動議で議決をし、市長に要望書が提出された。あまりないケースであるが、その経過を整理すること。また、それを受けた執行機関側は、議長からの議決を伴う正式な要望に対してどのように応え説明していくか、企画部局を含めて検討し、対応すること。
- ・決算認定の質疑の中で、予算が当初予算から変更になり、合わないという質疑が多数あった。流用の根拠や基準にまで話が及んだ。

(議会事務局長)

- ・駐車場事業特別会計は、他の特別会計に比べて一般会計からの繰入の部分で特殊な特別会計であると理解しているが、その特殊性について説明がなかった。その説明があると、議会側もあり方を考えていくきっかけになるため、しっかりと説明するべきである。
- ・市長に対する要望書の件については、そもそも議会には請願や陳情に対する修正権がないため、不採択としたうえで議会から意見書を提案し、議決する段取りとした。この件については、回答を求めるというよりは検討状況の報告を求めていくのが議会の意思であるので、経過を報告してほしい。
- ・今後、付帯決議がある場合には、基本的に議決になると考えられる。
- ・議案の補足説明資料は告示までに提出いただきたい旨を連絡していたが、認識のない職員も見受けられ、間に合わない案件があった。改めて、告示までの資料提出の徹底をお願いする。議会事務局からも声掛けをさせていただくので、資料提出の案件があれば執行機関側からも事前に連絡をいただきたい。
- ・質疑がかみ合わない場面があった。本来なら委員長が趣旨を確認し、申告するものであるため議会の反省会でも反省したが、あまりにも質疑がずれてしまっている場合には、部局長にも注意を促していただきたい。

(企画部長)

- ・補足説明資料については、議会としても口頭説明だけでは議案に向き合うことが難しい案件もあるため、

必要な案件は期限までに補足説明資料を準備すること。今回は、特に予算案件の資料が間に合っていない状況があった。改めて部局内で意思統一を図っていただきたい。

- ・議会に提出する資料は市長決裁を要するため、時間に余裕をもって早めに起案をしていただきたい。
- ・契約案件についても事業の内容に係わる説明に資料があった方が理解しやすい案件もあるため、資料の検討をお願いする。

(総務部長)

- ・補足説明資料の提出について、議会の政策会議の際に補足説明資料がないと論点整理ができないという話があったが、仮に補足説明資料があっても説明者が政策会議に同席し説明をするわけではないので、その場で論点整理をするのは困難だと思われる。成功イメージはどのようなものか。

(議会事務局長)

- ・政策会議では限られた議員が総務文書課長と財政課長から説明を受けるため、全ての議員が全ての内容を理解することはできないが、そうはいても議員が自分で準備を進めることができる。その後、本会議で説明を聞き、課題を共有したうえで、委員会を議論の深い審査の場になるようにしたい。

5 その他、連絡事項

(1) 公式SNSアカウントの適切な管理について

(システム管理係長)

- ・今年度に入って市が管理する公式SNSアカウントが乗っ取られる、又は乗っ取りが疑われる被害が発生している。
- ・各部局で管理しているSNSのアカウントの適切な運用について、今一度、確認をお願いする。

(企画部長)

- ・事務局を担っている団体のアカウントの乗っ取り事案も発生している。また、市ウェブサイトの特定のページだけが突出して閲覧数が多い事案があった。どこにひっかかって注目を浴びるか分からないこともあり、その意味からも今一度SNSアカウントの管理の徹底をお願いする。

(2) 庁内LGWAN回線の無線化について

(システム管理係長)

- ・11月1日から無線LGWAN回線が運用開始となり、次回の部長会議からはそれぞれの机上にあるノートPCを持参いただき、無線回線を使用して会議運営をしていただく。
- ・1週間前に職員向けの操作研修を実施する。

(3) 選挙事務について

(総務部長)

- ・2週間続けての選挙となる。職員の負担は大きいが対応をお願いする。
- ・衆院選挙の期日前投票と市長選挙・市議補欠選挙の当日が重なるなど特殊な状況になる。

(4) 赤い羽根共同募金への協力について

(福祉部長)

- ・赤い羽根共同募金への協力をお願いする。

6 閉会